

主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践 指導経過記録

1. 基本情報

事例タイトル	ケースの主な特徴等により、解り易いタイトルを付けて下さい	
主任介護支援専門員 (スーパーバイザー)	基礎資格	受講者自身(事例提供者)
	主な経験等	
事例の担当者 (スーパーバイジー)	基礎資格	受講者(事例提供者)のスーパービジョンの相手であり、利用者に係る普段の担当ケアマネジャー
	主な経験等	
バイザーとバイジーとの関係・相談の契機	例 ... 同一事業所の同僚、近隣の仲間 等	
指導・支援した期間	年 月 ~ 年 月 (約 ヶ月間) に約 回分 ※「期間」とは期間中に複数回の指導・支援を想定	

2. 事例の担当者(バイジー)からの主訴・悩み(バイザーに相談したい要点等)

バイジーとして何を困っているのか? どんな葛藤についてSVして欲しいのか? 等
【※注 以後SV=スーパービジョン】

3. バイザーとしてバイジーに気付いて欲しい要点等(開始当初の期待等)

バイジーに(SVを通じて)どんな気づきを得て欲しいと願うのか? 等

4. バイザーとしてバイジーへの支援・指導に際し特に気を付けた要点等

バイジーに対するSVにおいて、特にバイザーとして意図的に心掛けた事 等

5. 主な支援・指導経過記録 ※「場面」… 相談・助言・同行訪問・会議への同席等

年月日	場面	内容	※極力会話記録スタイル（逐語録）の形式
●年●月●日			

S Vの展開（過程）において、特に起点（重要な転換）となる支援・指導上のエピソード等であり、利用者の「居宅介護支援経過」ではありません。
 ※ 極力実際行われたS Vの会話記録スタイル（逐語録）の形式

別紙「会話記録スタイル（逐語録）の形式 イメージ例」を参考として下さい。

6. 支援・指導経過を通じてバイジーが得た気づき等（バイジーの変化等）

S Vを行う事で、バイジー（相談者）自らがどのような気づきを得たのか・見方等がどう変わったのか等

7. 支援・指導経過を通じてバイザーが得た気づき等（バイザーの変化等）

S Vを行う事で、バイザー（指導者）自らがどのような気づきを得たのか・見方等がどう変わったのか等

8. 本事例から導き出される地域課題（バイザーによる地域課題の抽出）

S Vを行いバイザー（指導者）として個別事例の検討を通して、どのような（横断的な）地域課題が抽出出来たか

9. 支援・指導に際し他の主任介護支援専門員に相談したい点等（演習での検討論点）

※ 演習目的は「7類型に沿った指導の振り返り」の為 7類型の視点及びスーパービジョンの視点の2点を含めた検討論点としてください。

実際行ったS Vを振り返り、利用者・バイジーの特性等を踏まえ悩んだ事・他の主任介護支援専門員からアドバイスを得たいと感じる事等